

マテリアリティ 1 「お、ねだん以上。」の商品・サービス提供による豊かな暮らしへの貢献

ニトリグループは、お客様の「不平・不満・不便」の解決を最優先に考え、常にお客様の立場に立ち、何が有益かを追求し続けています。一貫通貫のビジネスモデル“製造物流IT小売業”を活かし、安さと適正な品質の維持に加え、誰もがコーディネートを楽しむことができる、「お、ねだん以上。」の商品・サービスを提供します。そして、それらの商品・サービスを通じて、お客様の利便性や快適な暮らしへ寄与すると同時に、環境・社会課題の解決にも繋がるような、これまでにない“新しい価値”を創造、提供することで、お客様の豊かな暮らしにより一層貢献していきたいと考えています。

マテリアリティ 2 品質管理の徹底による製品安全・安心の提供

ニトリグループは、常に、商品をお使いいただくお客様の立場に立ち、品質が維持された商品をお求めやすい価格でご提供する事は勿論の事、安全、安心な暮らしに貢献するという社会的責任を認識しています。ニトリグループの商品を安全に、安心してお使いいただける様、常に品質向上と安全確保に向けて取り組んでいます。

マテリアリティ 3 環境に配慮した事業推進

ニトリグループは、自社のみならずサプライヤーも含むサプライチェーン全体において、事業拡大が環境負荷拡大に繋がらないよう、常に省資源・省エネなどへの取り組みによる環境配慮に努めます。加えて、事業を通じて環境保全・改善に寄与できるような取り組みを推進し、良好な環境づくりに貢献したいと考えています。

気候変動への対応

気候変動の影響による様々なリスクを認識し、独自のビジネスモデルを活かすことでサプライチェーン全体のあらゆる段階において全体最適でものごとを考え、効率化・最適化に取り組むことにより、CO₂排出量を削減し、気候変動への影響緩和に寄与します。今後は、TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）に沿った開示に向けて取り組んでいきます。

エネルギー使用

事業活動に必要な不可欠なエネルギーの有限性を認識し、独自のビジネスモデルを活かすことでサプライチェーン全体におけるエネルギー使用の効率化および使用量の削減に取り組めます。また、環境配慮型機能性商品の開発・販売により、お客様の日常生活におけるエネルギー使用量削減にも貢献します。

資源の有効利用

大型家具から、寝具・カーテンなどのファブリック商品、金属やプラスチック等を使用したハード商品、食器など小物雑貨に至るまで幅広い商品を製造・販売する私たちにとって、木材を中心とした資源の有限性を認識し、その持続可能性に対してアプローチすることは、企業の責任であり、重要な使命です。ムダのない、余すことのない資源の有効活用と、再生素材の有効利用による資源循環促進に取り組むことで、製品ライフサイクルにおける資源使用量および廃棄処分量の削減に努めています。

大気・水の汚染防止

自社工場のみならずサプライヤーにおいても、商品製造工程における徹底した品質管理と同時に、大気や水の汚染防止と低減、化学物質の管理徹底により、環境保護に取り組めます。

ニトリグループの国内事業所におけるCO₂排出量

サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドラインに基づき、国内事業所における温室効果ガス排出量を算出
国内事業所：店舗（ニトリ・デコホーム）、本社（札幌本社（麻生店含む）・東京本部（赤羽店含む）、物流拠点（DC・営業所）
単位：t-CO₂e

国内事業所でのCO ₂ 排出量	2018年度	2019年度	2020年度 ^{※3}	
スコープ1 (t-CO₂e)	合計	50,605	50,192	57,567
ガス・灯油・ガソリン軽油の使用による直接排出 「エネルギー(ガス・灯油・ガソリン)使用量」 ×「エネルギーごとCO ₂ 排出原単位」	店舗	49,341	48,807	56,294
	本社その他	665	757	676
	物流拠点	599	628	597
スコープ2 (t-CO₂e)^{※1}	合計	107,651	101,858	110,336
電気使用による間接排出 「電気使用量(kWh)」×「電力事業者別排出係数」	店舗	93,581	87,854	95,432
	本社その他	3,232	3,241	3,144
	物流拠点	10,838	10,763	11,760
エネルギー使用にともなうCO₂排出量合計^{※2}		158,256	152,051	167,903
国内売上高1億円あたりCO₂排出量		34.5	29.6	29.4

※1 スコープ2は、温対法に基づき、他社から購入した電気によるCO₂排出量を、電気事業者別排出係数（調整後排出係数）を使用して算出

※2 エネルギー使用にともなうCO₂排出量は、スコープ1・2の合計

※3 2020年度：新型コロナウイルスへの対応により店内換気+快適な室温維持のため、夏季冬季のエネルギー使用量が一時的に増加

ニトリグループの国内事業所におけるエネルギー使用量（ガス・灯油・ガソリン・軽油・電気）

国内事業所でのエネルギー使用量	2018年度	2019年度	2020年度 [※]	
ガス使用量 (m³)	合計	10,798,550	10,425,022	14,614,443
	店舗	10,407,555	10,083,236	14,258,976
	本社その他	220,929	182,575	203,780
	物流拠点	170,066	159,211	151,687
国内売上高1億円あたりガス使用量 (m³)		2,357	2,075	2,120
灯油・ガソリン・軽油使用量 (ℓ)	合計	612,514	616,443	571,443
	店舗	493,570	491,646	436,212
	本社その他	19,276	20,952	32,514
	物流拠点	99,668	103,845	102,717
国内売上高1億円あたり灯油・ガソリン・軽油使用量(ℓ)		134	120	100
電気使用量 (kWh)	合計	223,576,423	227,178,208	248,878,442
	店舗	194,765,535	196,247,241	215,045,734
	本社その他	6,505,895	6,912,682	6,807,994
	物流拠点	22,304,993	24,018,285	27,024,714
国内売上高1億円あたり電気使用量 (kWh)		48,805	44,293	43,510

国内拠点のCO₂排出量及びエネルギー使用量削減に向けたこれまでの取り組み

2013年度：新規出店時の照明にLEDを導入 既存店もLED照明への入れ替え開始かつデマンド制御による電気使用量抑制開始

2015年度：4つの物流拠点でLED化完了

2018年度：店舗で使用する社用車の小型化（安全性・燃費効率改善・店舗オペレーション改善による省エネルギー化）

※2020年度：新型コロナウイルスへの対応により店内換気+快適な室温維持のため、夏季冬季のエネルギー使用量が一時的に増加

ニトリグループの国内事業所における廃棄物排出量

国内事業所での廃棄物処分量	2018年度	2019年度	2020年度	
廃棄物量 (t)	合計	85,099	88,823	90,028
	廃プラスチック	4,945	5,248	5,119
	発泡スチロール	605	522	350
	段ボール [※]	39,720	40,835	42,648
	一般廃棄物・その他	39,829	42,218	41,911
国内売上高1億円あたり廃棄物量 (t)		18.6	17.3	15.7

国内事業所の廃棄物排出量削減に向けたこれまでの取り組み

2013年度：商品ダウンサイジングによる梱包材使用量抑制

2017年度：商品梱包材変更による発泡スチロール使用量削減

2020年度：輸送後に発生する使用済ストレッチフィルムを業者によってゴミ袋に再利用し一部拠点で使用

※発生する段ボールに関しては、業者様と連携して再生資源へのリサイクルに繋げています。

マテリアリティ 4 サプライチェーンにおける公平公正な取引と人権尊重

ニトリグループのものづくりに関して最も大切に考えている『安さ・品質・コーディネート』。この品質という言葉には、お客様視点での適正な機能や、製品安全への徹底した取り組みに加え、その製造工程において正しいプロセス（誠実さ、人権尊重、法令遵守、労働安全、環境保護など）を経て作られた商品であることも含まれています。ともにロマンの実現を目指す仲間であるサプライヤーに対しても、法令等を遵守するだけでなく、ニトリグループの考える「真のパートナーシップ」の確立を求め、サプライチェーン全体において持続可能な成長を共に実現します。

真のパートナーシップ

①経営に及ぶようなテーマも含め、それぞれが最先端を学び、共有し、お互いが切磋琢磨していけるような関係。

②常に公平公正で透明性が高く、かつ自由に意見が言い合えるようなオープンな関係。

③ニトリグループの製品安全文化の構築に向けた考え方・管理手法に加え、自然環境への配慮^{※1}、人権尊重^{※2}、適正な労働環境維持^{※3}など、社会的責任を履行することの重要性を共有し、ともにロマンの実現に向けて成長できる関係。尚、それらの共有手段として、「商品製造及び業務委託基本契約書」及び「取引先品質保証マニュアル」に遵守した契約を締結。

※1 ニトリグループの環境方針に準じた配慮 ※2 強制労働、児童労働、差別の禁止 など

※3 過剰労働防止、法令で定められている以上の休暇確保、法令で定められた最低賃金の支払い、職場の安全確保、健康で働きやすい職場環境維持など

サプライヤーへの団結の自由に対する権利

労働組合の設置など、基本的権利を尊重し、協議や対話を通じた課題解決に努めます。

→ 関連リンク：取引先憲章（ニトリホールディングスサイト）

マテリアリティ 5 地域社会への貢献

ニトリグループは、チェーンストア企業の使命として、日常の暮らしにおいて必要不可欠な商品の安価で安定した供給、現地での雇用創出、環境へ配慮等、その地域に貢献する事で、地域のお客様にとってなくてはならない存在となるべく、行動します。